

2010年度 第1四半期決算



2010年7月29日
東京ガス株式会社

目次

2010年度 第1四半期 決算概況	P. 2
2010年度 通期見通し	P. 8
補足説明資料	P.10

2010年度 第1四半期

決算概況

【2010年度 第1四半期決算】

増収減益決算（対前期実績）

- ガス販売量：扇島パワー稼働・景気回復による工業用需要増、
4-5月低気温による家庭用給湯需要増
- 売上高：ガス販売量増に伴うガス売上高・扇島パワー稼働による電力売上高増
- 営業利益：退職給付数理計算上の数理差異負担が減少したものの、
原油高に伴うガス原材料費増加により減益

(億円)

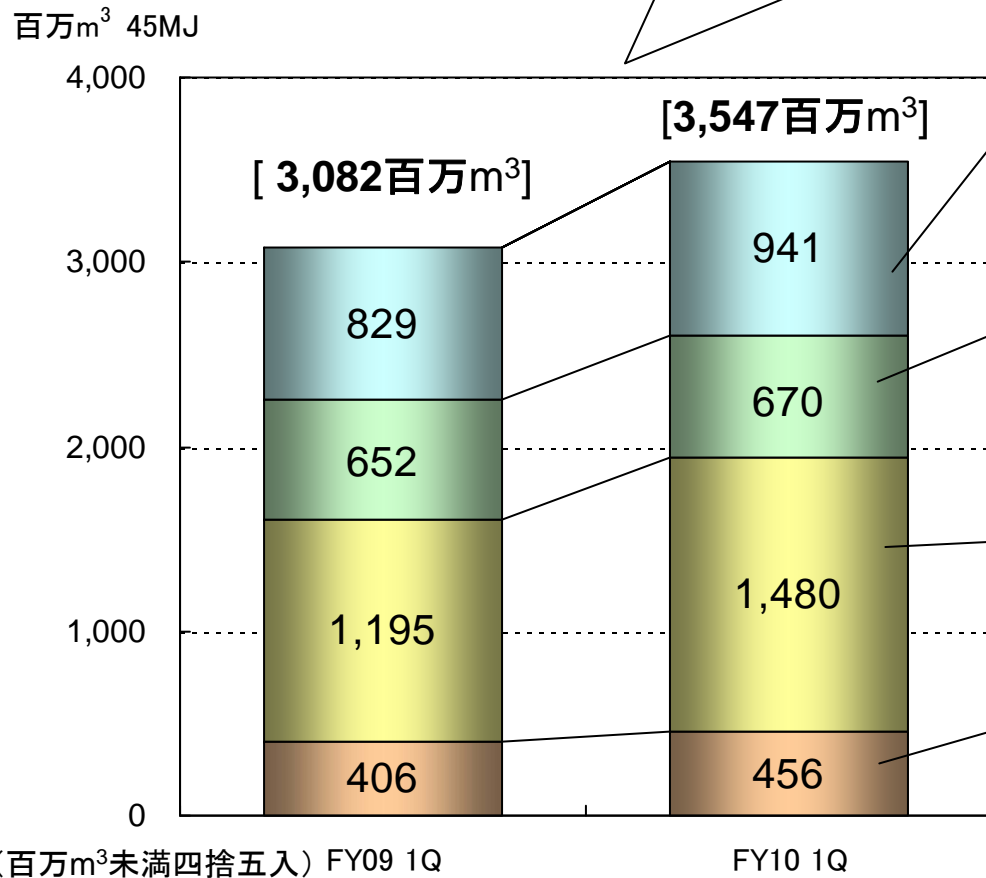
	2010年度第1四半期	2009年度第1四半期	増減	増減率(%)
ガス販売量(百万m ³ ・45MJ)	3,547	3,082	+465	+15.1
売上高	3,664	3,424	+240	+7.0
営業費用	3,248	2,922	+326	+11.2
営業利益	415	502	▲87	▲17.2
経常利益	414	523	▲109	▲20.8
四半期純利益	252	332	▲80	▲24.1

(スライドタイムラグ・個別)	▲120	+232	▲352	-
(年金数理差異償却額・個別)	+49	▲80	+129	-

経済フレーム	原油価格(\$/bbl)	為替(円/\$)	平均気温
FY10 1Q	81.30	92.01	18.3℃
FY09 1Q	52.57	97.36	19.4℃

【都市ガス販売量実績】

前年同期比 +465百万m³ (+15.1%)
[内大口供給 +282百万m³ (+18.9%)]



FY09 1Q → FY10 1Q 増減要因

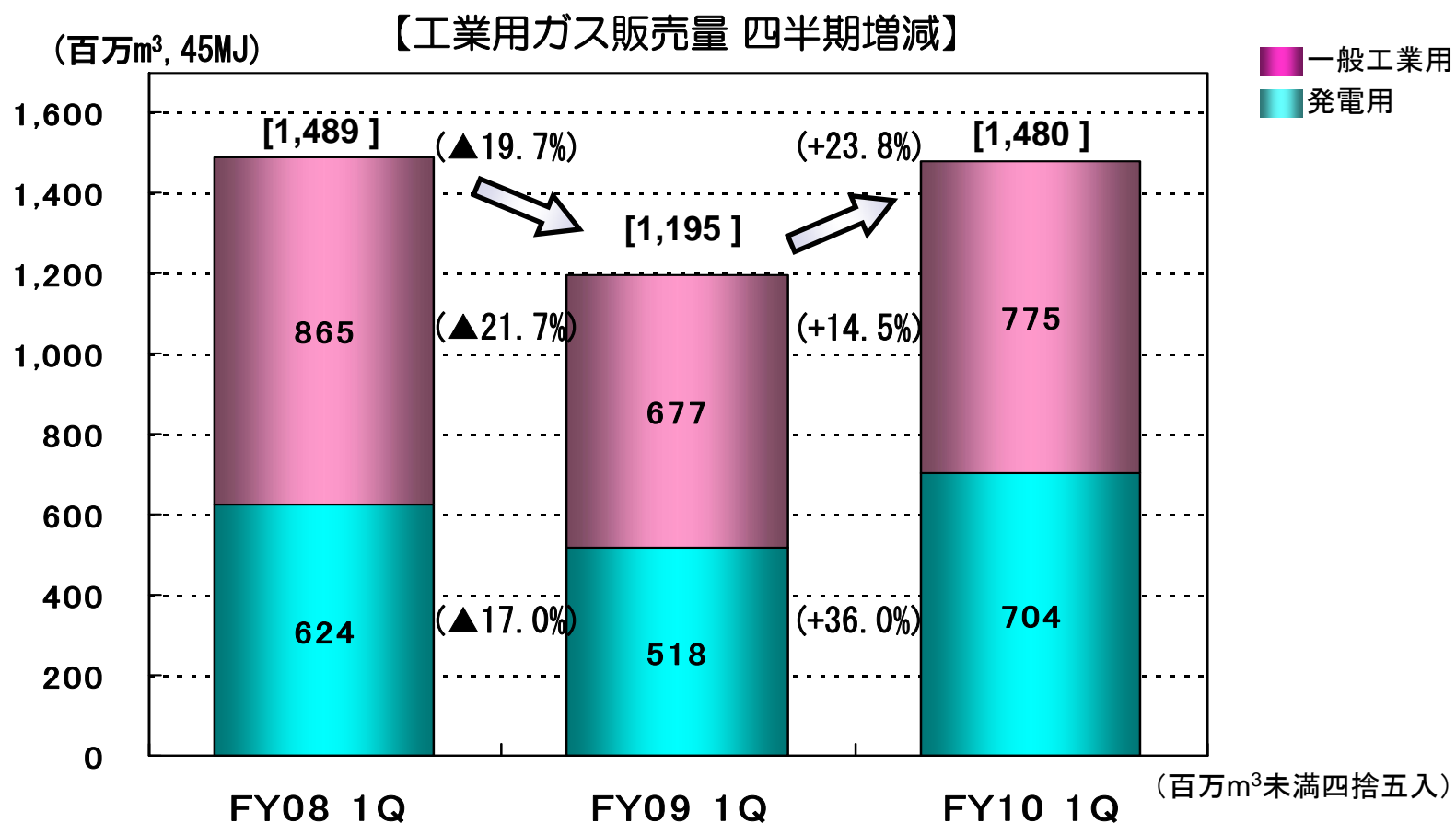
- 家庭用 +112百万m³ (+13.5%)**
- ・低気温による販売量増 +85 (+10.3%)
 - ・件数増 +4 (+0.5%)
 - ・日数差異 +16 (+1.9%)
 - ・その他 +7 (+0.8%)
- 業務用 +18百万m³ (+2.8%)**
- ・低気温による販売量増 +18 (+2.8%)
 - ・日数差異 +5 (+0.8%)
 - ・その他 ▲5 (▲0.8%)
- 工業用 +285百万m³ (+23.8%)**
- ・扇島パワーの新規稼働、既存工業需要回復
- 卸供給 +50百万m³ (+12.3%)**
- ・一般ガス事業者向け +43 (+10.6%)
 - ・大口ガス事業者向け +7 (+1.7%)

平均気温	4月	5月	6月	4-6月平均
FY10	12.4	19.0	23.6	18.3
FY09	15.7	20.1	22.5	19.4

需要家件数		(万件)	
FY10 1Q末	FY09 1Q末	増減	率
1,065	1,054	11	+1.1%

【工業用ガス販売量動向】

- 扇島パワー稼働(第1機 10年3月)による発電専用向け販売増
- 一般工業用向け販売は、既存需要の稼働増等により増加するものの、ピーク(08年度第1四半期)レベルには回復せず。



【2010年度第1四半期 部門別概況】

(億円)

	売上高				セグメント利益又は損失			
	2010年度 第1四半期	2009年度 第1四半期	増減	(%)	2010年度 第1四半期	2009年度 第1四半期	増減	(%)
都市ガス	2,817	2,642	+175	+6.6	454	586	▲132	▲22.5
器具及び ガス工事	340	330	+10	+2.9	5	▲4	+9	-
その他エ ネルギー	489	372	+117	+31.5	7	17	▲10	▲55.2
(内電力)	127	67	+60	+90.9	▲1	1	▲2	▲190.6
不動産	82	82	0	▲0.7	21	21	0	+1.2
その他	359	316	+43	+13.5	18	6	+12	+212.3
都市ガス以外	1,270	1,101	+169	+15.3	53	39	+14	+34.1
調整額	▲423	▲319	-	-	▲92	▲123	-	-
連結	3,664	3,424	+240	+7.0	415	502	▲87	▲17.2

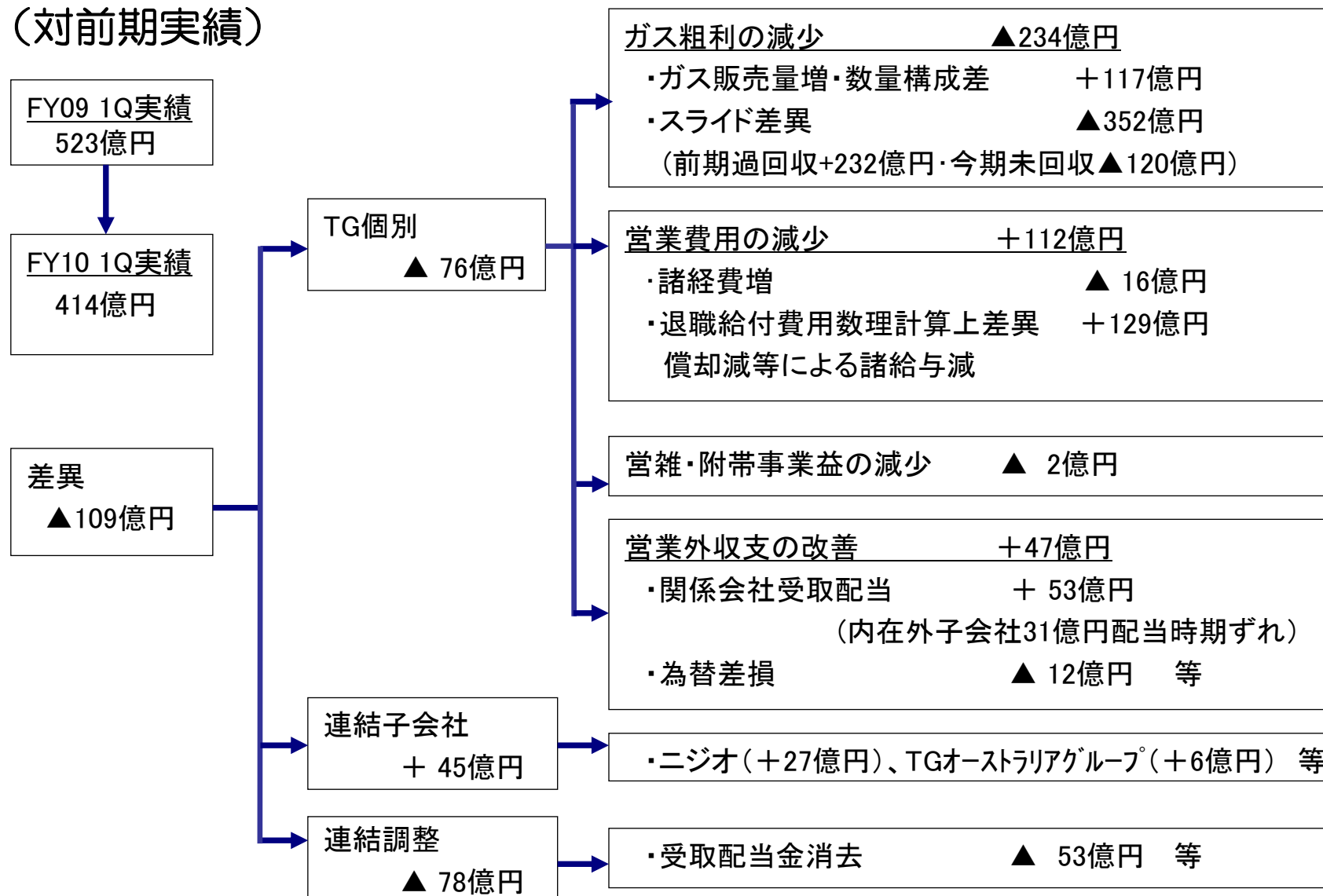
(注1) 当四半期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用し、セグメントを変更しています。

(注2) セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

(注3) 前年同期の数値は、前年同期の金額を新セグメントに組み替えた参考値です。

【2010年度 第1四半期 経常利益分析】

(対前期実績)



※符号は利益の貢献に対して表示

2010年度 通期見通し

【2010年度 業績見通し】

年度当初計画(4月28日発表) とおり

(億円)

	10年度 通期見通し	09年度 通期実績	増減	増減率 (%)	10年度 上期見通し
売上高	15,510	14,157	+1,353	+9.6	6,880
営業費用	14,430	13,304	+1,126	+8.5	6,550
営業利益	1,080	852	+228	+26.7	330
経常利益	1,020	835	+185	+22.1	310
当期純利益	650	537	+113	+20.9	190
ROA	3.5%	3.0%	+0.5	-	-
ROE	7.9%	6.8%	+1.1	-	-
(スライドタイムラグ・個別)	▲247	+57	▲304	-	-
(年金数理差異償却額・個別)	+198	▲320	+518	-	-

通期経済フレーム

	原油価格(\$/bbl)	為替(円/\$)
FY10	80.00	95.00
FY09	69.40	92.89

原油価格・為替レートの年度収支影響感度

1\$/bbl	2Q	3Q	4Q	年度
粗利影響	2	7	0	9

※油価が当該四半期で1\$下がった場合の通期粗利影響

1円/\$	2Q	3Q	4Q	年度
粗利影響	▲2	0	9	7

※為替が当該四半期で1円円高になった場合の通期粗利影響

補足説明資料

実績編（当期対前期）

・ 連結	主要決算数値	・・・・・・・・・・	P.12
・ 個別	主要決算数値・諸経費内訳	・・・・・・・・・・	P.13
	営業主要計数	・・・・・・・・・・	P.14
	工業用業種別販売量実績	・・・・・・・・・・	P.15

見通し編

・ 個別	経済フレーム及び年度収支影響感度	・・・・・・・・・・	P.18
	中間・通期見通し	・・・・・・・・・・	P.19
	営業キャッシュ・フロー及び設備投資内訳	・・・・・・・・・・	P.20

実績編

連結 主要決算数値

第1四半期実績（当期対前期）

（単位：億円未満切捨て）

	当期	前期	増減		備考
売上高	3,664	3,424	240	7.0%	都市ガス売上高+175
営業利益	415	502	▲ 87	▲17.2%	都市ガス営業利益▲132
経常利益	414	523	▲ 109	▲20.8%	営業外損益▲22（金利スワップ差損益（当期▲15 前期0）他）
四半期純利益	252	332	▲ 80	▲24.1%	

総資産	18,115	18,409	▲ 294	▲1.6%	流動資産▲366（受取手形及び売掛金▲238）、投資その他の資産▲232、有形・無形固定資産+305（扇島パワー新規連結+357）
自己資本	8,082	8,138	▲ 56	▲0.7%	当期純利益+252、配当金支払▲134、自己株式消却▲79、株式評価差額金▲67
自己資本比率（%）	44.6%	44.2%	0.4	—	総資産の減（▲1.6%）に比べ、自己資本の減（▲0.7%）が小さかったため上昇
総資本回転率（回転）	0.20	0.20	—	—	
有利子負債残高	6,500	5,559	941	16.9%	東京ガス+933、扇島パワー+82（新規連結）、東京ガス都市開発▲90
四半期純利益	252	332	▲ 80	▲24.1%	
減価償却(*2・3)	352	347	5	1.2%	扇島パワー+13（新規連結）、東京エルスジータンカー▲8
営業キャッシュ・フロー(*1)	604	680	▲ 76	▲11.1%	
設備投資(*2)	296	296	—	▲0.1%	扇島パワー+65、東京エルスジータンカー▲45、東京ガスプルト▲18
1株当たり四半期純利益（円/株）	9.41	12.25	▲ 2.84	▲23.2%	四半期純利益減（▲80）により減
1株当たり純資産（円/株）	301.67	301.58	0.09	—	

今期（2010年4月～6月）は連結67社（東京ガス+連結子会社62社+持分法適用関連会社4社）、前年同期は連結65社（東京ガス+連結子会社60社+持分法適用関連会社4社）
前期数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末数値を表示

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「四半期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

個別 主要決算数値・諸経費内訳

第1四半期実績（当期対前期）

	億円		
	当期	前期	増減
総売上高	3,177	2,987	190 6.4%
営業利益	339	462	-123 -26.7%
経常利益	407	483	-76 -15.9%
四半期純利益	302	315	-13 -4.1%

料金スライドの収支への影響

	億円		
	当期	前期	増減
料金によるスライド回収	-113	17	-130
原料費の増加分	7	-216	223
差し引き	-120	232	-352

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	円/\$		
	当期	前期	増減
原油価格	81.30	52.57	28.73 \$/bbl
為替レート	92.01	97.36	-5.35 円/\$

	億円					
	当期	前期	増減			
製品売上高(ガス売上高)	2,669	2,564	105	4.1%	数量・料金構成差+242億円、単価差▲137億円	
営業費用	原材料費	1,373	1,034	339	32.7%	数量・原料構成差+125億円、単価差+214億円
	(粗利)	(1,296)	(1,530)	(-234)	(-15.3%)	数量・構成差+117億円、単価差▲351億円
	諸給与	190	320	-130	-40.4%	退職手当▲133億円(数理計算上の差異費用▲129億円) 他
	諸経費	539	523	16	3.1%	詳細は下表参照
	減価償却費	256	254	2	0.8%	
	LNG受託加工費	-8	-8	0	-	
計	2,351	2,124	227	10.7%		
受注工事収支	-4	-6	2	-	固定費・間接費減+1億円 他	
器具販売等収支	24	17	7	43.5%		
営業雑収支	20	11	9	79.8%		
附帯事業収支	0	11	-11	-98.8%	LNG販売▲4億円、電力販売▲4億円 他	
営業利益	339	462	-123	-26.7%		
営業外収支	68	21	47	221.4%	関係会社受取配当金増+53億円、為替差▲12億円 他	
経常利益	407	483	-76	-15.9%		
特別利益	36	0	36	-	TGエンタープライズ*合併による特別利益+36億円	
特別損失	0	0	0	-		
法人税等	140	168	-28	-16.4%		
当期純利益	302	315	-13	-4.1%		

	億円				
	当期	前期	増減		
修繕費	75	73	2	3.3%	建物修繕費増+1億円 他
消耗品費	33	32	1	3.0%	消耗品ガスメータ増+1億円 他
賃借料	50	49	1	1.0%	社宅賃借料増+1億円 他
委託作業費	150	147	3	1.6%	ライバル委託費増+1億円、営業関係委託費増+1億円 他
租税課金	103	103	0	0.2%	
需要開発費	48	39	9	24.4%	エネアーム等広告費増+4億円、家庭用既築市場営業強化+3億円、安全機器取替促進+1億円 他
その他	80	80	0	-0.1%	

個別 営業主要計数

第1四半期実績 (当期 対 前期)

お客さま件数

千件

	当期	前期	増減	
お客さま件数	10,354	10,274	80	0.8%
新設件数	35	38	-3	-7.7%

個別ガス販売実績

百万m³、45MJ

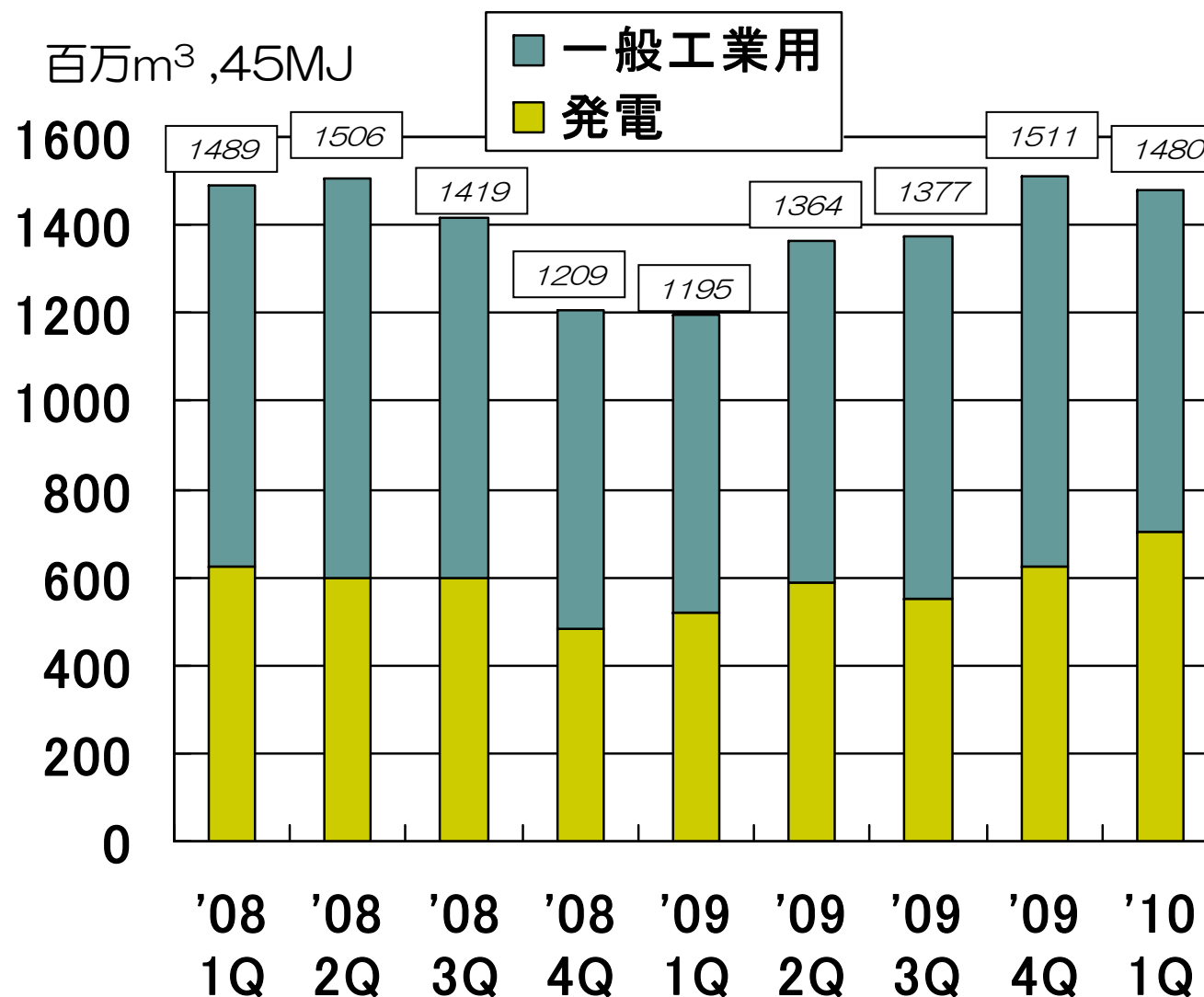
		当期	前期	増減		
家庭用1件当り販売量(m ³)		103.8	92.0	11.8	12.8%	気温影響+9.7m ³ (+10.5%)、日数差+1.7m ³ (+1.9%)、その他増減+0.4m ³ (+0.4%)
家庭用		911	804	107	13.4%	気温影響+85百万m ³ (+10.5%)、日数差+16百万m ³ (+1.9%)、件数差+4百万m ³ (+0.5%)、その他増減+3百万m ³ (+0.4%)
業務用	商業用	431	431	0	0.0%	
	その他用	204	191	13	6.8%	
業務用計		635	622	13	2.1%	気温影響+18百万m ³ (+2.9%)、その他増減▲5百万m ³ (▲0.8%)
工業用	発電専用	489	458	31	6.9%	
	発電専用以外	732	643	89	13.8%	詳細は別ページ参照
	工業用計	1,221	1,101	120	10.9%	
計		1,855	1,723	132	7.7%	
卸供給		510	457	53	11.7%	気温影響+12百万m ³ (+2.7%)、卸先需要家の既存物件稼働増+41百万m ³ (+9.0%)
合計		3,277	2,983	294	9.8%	気温影響+115百万m ³ (+3.8%)、発電専用+31百万m ³ (+1.0%)、工業用(発電専用以外)+89百万m ³ (+3.0%)、卸供給(気温影響除き)+41百万m ³ (+1.4%)、その他+18百万m ³ (+0.6%)
(内大口供給)		1,501	1,377	124	9.0%	

個別 工業用ガス販売動向 業種別内訳

	単位：百万m3 45MJ	10年度 第1四半期 (A)	09年度 第1四半期 (B)	増減 (A)-(B)	(%)	08年度 第1四半期 (C)	増減 (A)-(C)	(%)
一 般 工 業 用	食料品	122	130	▲ 8	▲6.2%	140	▲ 18	▲13.4%
	繊維	10	8	2	17.7%	9	1	4.3%
	紙・パルプ	51	51	0	▲1.2%	63	▲ 12	▲18.9%
	化学	167	154	13	8.5%	182	▲ 15	▲8.6%
	窯業土石	43	36	7	20.5%	42	1	2.9%
	鉄鋼	111	67	44	66.1%	147	▲ 36	▲24.7%
	非鉄金属	41	33	8	23.3%	38	3	6.9%
	金属機械	100	89	11	11.8%	116	▲ 16	▲13.5%
	その他製造業	88	75	13	16.5%	94	▲ 6	▲6.9%
	小計	732	643	89	13.8%	831	▲100	▲12.0%
発電専用	489	458	31	6.9%	590	▲ 101	▲17.0%	
計	1221	1101	120	10.9%	1422	▲ 201	▲14.1%	

四捨五入等の関係で、計算が合わないことがあります。

連結 工業用ガス販売動向 四半期推移



見通し編

個別 経済フレーム 及び年度収支影響感度

経済フレーム

	今回7/29見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	80.00	80.00	80.00	\$/bbl
為替レート	95.00	95.00	95.00	円/\$
	前回4/28見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	80.00	80.00	80.00	\$/bbl
為替レート	95.00	95.00	95.00	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	0.00	0.00	0.00	\$/bbl
為替レート	0.00	0.00	0.00	円/\$

億円

原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度

1\$/bbl	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 13	▲ 5	▲ 2	▲ 20
原料	▲ 15	▲ 12	▲ 2	▲ 29
粗利	2	7	0	9

※油価が当該四半期で1\$下がった場合の通期収支影響

1円/\$	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 16	▲ 14	▲ 4	▲ 34
原料	▲ 14	▲ 14	▲ 13	▲ 41
粗利	▲ 2	0	9	7

※為替が当該四半期で1円円高になった場合の通期収支影響

気温変動によるガス販売量影響

	夏期	冬期	中間期	年間計
対象月	6~9	12~3	4, 5, 10, 11	—
変動率	▲0.0%	▲2.2%	▲1.7%	▲1.4%

個別 上期・通期見通し

年度当初計画（4月28日発表）どおり

(億円)

	上期	通期	09年度
総売上高	5,930	13,440	12,106
営業利益	210	800	591
経常利益	260	850	589
当期純利益	220	610	388

(億円)

	上期	通期	09年度	
製品売上高(ガス売上高)	4,840	10,970	10,108	
営業費用	原材料費	2,717	6,017	4,925
	(粗利)	(2,123)	(4,953)	(5,183)
	諸給与	365	744	1,283
	諸経費	1,074	2,415	2,325
	減価償却費	528	1,102	1,076
LNG受託加工費	-16	-31	-32	
計	4,668	10,247	9,577	
受注工事収支	-10	-8	-8	
器具販売等収支	36	53	44	
営業雑収支	26	45	35	
附帯事業収支	12	32	24	
営業利益	210	800	591	
営業外収支	50	50	-1	
経常利益	260	850	589	
特別利益	35	35	0	
特別損失	0	0	0	
法人税等	75	275	200	
当期純利益	220	610	388	

ガス販売量内訳

 (百万m³、45MJ)

	上期	通期	09年度	
家庭用1件当り販売量(m ³)	144.8	382.3	381.8	
家庭用	1,271	3,357	3,332	
業務用	商業用	924	1,852	1,856
	その他用	473	929	936
業務用計	1,397	2,781	2,792	
工業用	発電専用	1,014	1,949	1,952
	発電専用以外	1,480	3,053	3,000
	工業用計	2,494	5,002	4,952
計	3,891	7,783	7,745	
卸供給	997	2,147	2,073	
合計	6,160	13,286	13,150	
(内大口供給)	3,170	6,290	6,199	

諸経費

(億円)

	上期	通期	09年度
修繕費	154	356	356
消耗品費	61	142	141
賃借料	100	199	192
委託作業費	294	640	603
租税課金	199	414	404
需要開発費	98	276	244
その他	168	388	385

経済フレーム

	上期	通期	09年度
原油価格	80.00	80.00	69.38
為替レート	95.00	95.00	92.89

\$/bbl

円/\$

料金スライドの収支への影響

(億円)

	上期	通期	09年度
料金によるスライド回収	-74	10	-774
原料費の増加分	127	257	-831
差し引き	-201	-247	57

金額は基準価格に対する増減額

お客さま件数

(千件)

	上期	通期	09年度
お客さま件数	10,363	10,425	10,340
新設件数	62	157	187

個別 営業キャッシュ・フロー及び設備投資内訳

営業キャッシュフロー

実績（当期 対 前期） 億円

	当期	前期	増減	
当期純利益	302	315	-13	-4.1%
減価償却	267	265	2	0.8%
営業CF(当期純利益+減価償却)	569	580	-11	-1.9%

（今回中間見通し 対 当初中間見通し） 億円

	今回7/29	当初4/28	増減	
当期純利益	220	220	0	0.0%
減価償却	549	549	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	769	769	0	0.0%

（今回通期見通し 対 当初通期見通し） 億円

	今回7/29	当初4/28	増減	
当期純利益	610	610	0	0.0%
減価償却	1,146	1,146	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,756	1,756	0	0.0%

設備投資内訳

実績（当期 対 前期） 億円

	実績	前期	増減	
製造設備	14	30	-16	-51.6%
供給設備	147	154	-7	-4.1%
業務設備他	22	11	11	99.1%
計	184	195	-11	-5.6%

製造設備 : 扇島工場タンク建設▲12億円、根岸工場BOG設備他▲4億円
 供給設備 : 需要開発関連▲8億円、設備更新入取替他+1億円
 業務設備他 : その他業務設備+6億円、システム開発他+5億円

（今回中間見通し 対 当初中間見通し） 億円

	今回7/29	当初4/28	増減	
製造設備	45	45	0	0.0%
供給設備	315	315	0	0.0%
業務設備他	61	61	0	0.0%
計	422	422	0	0.0%

（今回通期見通し 対 当初通期見通し） 億円

	今回7/29	当初4/28	増減	
製造設備	109	109	0	0.0%
供給設備	710	710	0	0.0%
業務設備他	247	247	0	0.0%
計	1,066	1,066	0	0.0%

東京ガス株式会社

＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東
京ガスの対応等があります。